

中小
企業

ぐんま

VOL.723
2022.

1

- ▶新年挨拶
- ▶業界・組合リーダーの年頭所感



おせち用「折箱」(株式会社群馬デスコ)

●新年会（新春講演会）

1月26日（水）

前橋商工会議所会館

●決算税務講習会

3月3日（木）・9日（水）

ホテル1-2-3前橋マーキュリー

●群馬で就職！合同企業説明会

3月7日（月）

Gメッセ群馬

●第74回中小企業団体全国大会

11月10日（木）

長崎市 出島メッセ長崎

新年挨拶 2

群馬県中小企業団体中央会会長 吉田 勝彦

群馬県知事 山本 一太

全国中小企業団体中央会会長 森 洋

株式会社商工組合中央金庫前橋支店長 藤田 譲雄

業界・組合リーダーの年頭所感 6

新年名刺広告 15

情報連絡員だより 20

インフォメーション 22

めいど in 群馬

～おせち用「折箱」～

〈表紙の写真〉

今年のお正月、読者の皆様はどのような「おせち料理」を召し上がつただろうか？一般的に「おせち料理」を重箱に詰めるのは「幸せ」や「福」が重なるとの意味があるという。

表紙の写真はおせち用「折箱」。令和4年最初の「めいど in 群馬」は、「折箱」を中心に食品容器の企画・製造・販売を行っている株式会社群馬デスコをご紹介する。

定型の容器だけではなく、お客様の様々な要望に応えた折箱の製造が同社の得意とするところ。何を隠そう、群馬県民であれば誰もが食べたことがある、「登利平」の持ち帰り用の弁当箱を製造しているのが当社。弁当箱に様々な工夫を施し、群馬のソウルフードとも言える「登利平の鳥めし」を裏方として支えている。

全国各地にも取引先があり、年間数百種類もの容器を製造。今回話を伺った小島隆治社長は、「社員の技術向上、他にはない当社仕様の製造機械を導入するなど製造工程の効率化を図り、多様化するニーズに応えている。小ロットの製品も多く大変なこともあるが、『ものづくり』として、お客様の様々な要望を聞きながら試行錯誤し、顧客に合ったオリジナル容器を製作することは『やりがい』があり楽しい」と話す。

また、小島社長は、「日本の弁当にはその美味しさだけではなく、目で見て楽しめる食文化もある。四季に合わせた弁当などもあり、様々なニーズに応えながら弁当の付加価値を上げるお手伝いをしていきたい」と話している。

株式会社群馬デスコ <令和元年度補正ものづくり補助金採択企業>

本社 桐生市梅田町3-14-5 TEL.0277-32-1585

伊勢崎工場 伊勢崎市市場町1-175-1 TEL.0270-62-6282

※折箱・弁当容器等、右記のオンラインショップより購入できます。



顧客の要望に応えながら
様々な形状・用途に合わせた「折箱」を企画・製造・販売



ホームページ Instagram オンラインショップ
[デスコショップ]